

## 山田地区で新たに発見した炭焼窯と壕について

恩納村博物館では、6月6日から10月5日までの期間に慰霊の日特別展「沖縄戦から80年—うんなのイクサクを振り返る—」を開催しています。展示見学していた来館者から、恩納村・うるま市・沖縄市にまたがる妙山の周辺で壕のような構造物を見つけたと情報提供がありました。GPS情報を記録していただいていたので、大体の場所の位置を確認することができました。確認すると恩納村に所在することがわかったので、7月18日にGPS情報を基に現地確認踏査を実施しました。

現地確認踏査の結果、残念ながら情報提供いただいた壕は見つかりませんでした。探している道中に炭焼窯2基と新たに壕を1基、見つけることができました。

2基の炭焼窯はともに川沿いの斜面を掘りこんで窯を造っていました。窯の構造はどちらも上から見るとイチジクのかたちの様になっており炭を焼く燃焼室や火をたく窯口、煙の通り道である煙道が確認できました。また、今回確認した炭焼窯はどちらも炭をつくって使用しなくなったもので、天井は無い状態のものでした。どちらも年代などを示す遺物は確認できなかったことから年代は今のところ不明です。

新たに発見した壕は谷間の斜面を掘りこんで造られ、入り口上部は崩落していました。壕の大きさは壕入り口幅が約210センチ、入り口高が約150センチ、見えている奥行きは約260センチありました。

新たに発見した炭焼窯や壕について、情報がまだなく、いつだれがどのような目的で造ったのかわからない状況です。今回、見つけきれなかった壕と合わせて今後も調査を続けていきますが、何か情報がありましたら恩納村博物館へ情報提供をお願いいたします。



1つ目の炭焼窯



2つ目の炭焼窯



発見した壕

### 令和7年度 文化財普及事業「掘り出された山田城」講演会開催のお知らせ

山田城跡はその存在を確認されてから、昭和61年の発掘調査まで全容が分からないブスクでした。今回の講演会では、「国指定史跡 山田城跡」を知ってもらうために昭和61～63年度までの発掘調査担当者を講師に迎え、当時の発掘調査の状況などをお話していただきます。

**日時** 11月15日(土) 14:00～15:30

**場所** 恩納村博物館 1階研修室

**講師** 上原 静 氏(沖縄国際大学 名誉教授)

**対象** 村内在住・在職者優先

**募集期間** 10月16日(木)～11月12日(水) 17:00



昭和60年代発掘調査

お問い合わせ：恩納村博物館 ☎982-5112